

—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

トルコ：エルドアン内閣改造

(現地報道)

現在トルコ国内を揺るがしている収賄事件に関連し、3名の主要閣僚が辞任したことを受け12月25日、エルドアン首相は内閣改造を行ったと発表した。新閣僚の顔ぶれは以下のとおり。

副首相：エムルッラー・イシュレル (Emrullah İşler)
法務大臣：ベキル・ボズダー (Bekir Bozdağ、前副首相)
経済大臣：ニハト・ゼイベクチ (Nihat Zeybekçi)
内務大臣：エフカン・アラ (Efkan Ala、前首相府事務次官)
環境都市整備大臣：イドゥリス・ギュルジェ (İdris Güllüce)
EU担当大臣：メヴリュト・チャヴショール (Mevlüt Çavuşoğlu)
家族社会生活大臣：アイシェヌル・イスラーム (Ayşenül İslam)
科学産業技術大臣：フィクリ・イシュク (Fikri Işık)
青年スポーツ大臣：アキフ・チャアタイ・クルチ (Akif Çağatay Kılıç)
交通海事通信大臣：リュトウフユ・エルヴァン (Lütfü Elvan)

12月19日、検察当局は収賄の容疑が固まったとしてチャーラヤン経済大臣、ギュレル内務大臣、バウシュEU担当大臣、エルドアン・バイラクトル環境都市整備大臣の4名の閣僚について、国会議員が持つ特権剥奪を大国民議会（トルコ国会）に求める書面が提出された事を受け、3人の閣僚が辞任、今回の内閣改造が行われた。

2014年3月に地方選挙、8月に大統領選挙が予定されている事から、エルドアン首相としても新たな顔ぶれで一連の騒動に幕引きを図りたい考えとみられる。

(金子研究員)